

追悼 藤枝征司先生

## 藤枝先生に捧ぐ・・・正直な人生，無念の思い

学 長 野尻 俊明

私にとって藤枝先生との思い出は限りなくあります。そうした中で、もっともストレートに惜別の心情を表現させていただいたのは、ご葬儀にあたっての弔辞です。先生へのご追悼にあたり、ここに再度捧げさせていただきます。

藤枝征司先生、あまりにも急ぎすぎです。先生がお亡くなりになったことを知らされても、われわれには全く信じられません。あんなにも元気で、いつも大きな声を出していた先生が急になくなったといわれても、誰がそれを信じられますか。62歳という若さでのご他界は、われわれにとってあまりにも辛すぎます。

先生と私が親しくお付き合いをさせていただくようになったのは、私が社会学部の専任教員となった1989年からのことでした。先生はその前年の1988年に社会学部の開設と同時に、専任の助教授として赴任されておられました。しかし私は、そのかなり以前から先生のことは存じ上げておりました。先生は私が流通経済大学を卒業した2年後の1975年から非常勤の教員として流経大で教鞭を執られておりました。誰とはなしに、柏市で議員に立候補した流経大の先生がいるということが耳に入りました。その方が先生であったことを知り、前々からよく存じ上げていたのです。

先生の生涯は、正直すぎるほど正直に生きられた人生だったと思います。妥協を許さぬ正論、正義、そのものだったような気がしています。己の信念を、いつでも、だれの前でも堂々と主張する。そして行動する。時には、激しすぎるほど直裁に、たぎる思いを表現する。そんな激しい生き方をした先生でした。でも同時に、とてもやさしい先生でした。

特に、どちらかというとも勉強の嫌いな、成績のあまり良くない学生に、それはそれは丁寧に指導しておられました。「剛」と「柔」の両極面を、どちらも正直に、ストレートに出されたのが先生でした。

私が同僚、というより後輩の教員となってから今日までの思い出は、あまりにも多過ぎてとてもここでその全てを述べることはできません。

でも一つだけ。先生、先生の前のお社会学部長の渡辺博史先生と三人でよく酒を飲みましたね。よく語り明かしましたね。渡辺先生も、先生も、話題はいつも流通経済大学と、

学生と、卒業生のことばかりでした。酒が回り、話が佳境に入り、それぞれが大声を張り上げるころになると、いつのまにか三人で笑ってましたね。何が楽しかったのか、さっぱり分かりませんが、楽しかったですね。

その渡辺先生の葬儀では、先生は感情を必死にこらえて立派な弔辞を読まれました。すばらしかったです。でも、それはついこの間のことですよ。そしてこんなにも早く私が先生にお別れの言葉を述べねばならなくなるとは、・・・言葉がありません。

先生、渡辺先生のご葬儀のあと、そのまま新松戸にいきましたね。佐伯学園長のおさそいで車で向かいました。そして、あの駐車場を見ましたね。新松戸の周辺事情に明るい先生が、ここは良い場所だ、良い場所だと力説したのをよく覚えています。あの場所に立派な校舎ができました。先生が、設計の段階から思いを込められた校舎には、もう学生達の元気な声が響き渡っています。あとは、先生のあの大きな声が聞こえれば、全てが揃うはずでした。

私が先生に最後にお会いしたのは、新松戸校舎開校記念式典が行われた前日の4月1日でした。私は、だれよりも早く入院中の先生に開校式典の記念の品を届けたかったです。先生は、ベッドに座って本当に喜んでくれました。そして、「必ず自分のこの目で新松戸校舎を見るぞ」と言っていたじゃないですか。そして、それが果たせなかった、先生の無念のお気持ちは、察してあまりあります。

そういえば、つい先日ベッドのうえで万歳をされたようですね。奥様からお聞きしました。先生が育てた流経大サッカー部が関東大学一部リーグ戦の初戦で、あの強豪駒沢大学を見事に打ち破った結果を聞かれて、喜びを爆発されたようですね。先生は流経大のスポーツに本当に愛情を注いでおられました。ラグビー部への応援、そして部長を務められているサッカー部への思い入れは、なみなみならぬものでした。先生が、中野監督やコーチの皆さんを陰で支え、学生を励まし続けてくれたおかげで、サッカー部は急激に強くなりました。選手達は、おそらく、近いうちに「大学日本一」の報告をきっとしてくれるはずです。どうぞ、楽しみにしててください。

流通経済大学は、いま大きな、掛け替えのない人材を失ってしまいました。あとに残ったわれわれ教職員一同は、藤枝先生の熱き思いを受け止め、そして先生がこよなく愛された流通経済大学をますます発展させるべく、懸命の努力をいたす決意を新たにしております。先生、いつまでも私達を見守っていてください。私達は、いつも先生の叱咤激励を心に感じながら、学生を大切に育て、流通経済大学を力を合わせて支えていきます。

30年間にわたり大学のために尽力し、多くの前途有望な学生を育てられた、そしてご家族の皆様をこよなく愛された、学校法人日通学園理事、社会学部前学部長、社会学部教授、サッカー部部長、藤枝征司先生。どうぞ、やすらかにお休みください。そしていつまでも私達を見守っていてください。先生のお名前と記憶は、私達にそして流通経済

大学に永遠に残されます。

本当に最後になってしまいました。先生のご冥福を心よりお祈り申しあげ、弔辞とさせていただきます。

2004年4月15日